

# 平成 24 年度 事業報告書

学校法人 白百合学園  
白百合女子大学

## I. 大学の概要

### 白百合女子大学の概要

学校法人白百合学園は、明治 11 年（1878 年）に来日した 3 人のフランス人修道女が函館に修道院を創設したことに始まります。その後、明治 14 年（1881 年）東京・神田猿樂町に学校を設立し、以来 1 世紀以上に亘り、シャルトル聖パウロ修道女会の運営により学校教育を行っています。

白百合女子大学（以下本学という。）の前身である白百合短期大学は、昭和 25 年（1950 年）に設置され、昭和 40 年（1965 年）には四年制大学に移行して、東京・調布の地にキャンパスを構えました。

本学は、キリスト教のカトリシズムの伝統による人格形成を基本理念とし、知性と感性との調和のとれた女性の育成を目指しています。そのため、四年制大学移行後も、カトリック精神にもとづく少人数教育の実践を基礎として、カリキュラムや教育施設を拡充してきました。

現在、学部は、国語国文学科、フランス語フランス文学科、英語英文学科、児童文化学科（児童文学・文化専攻、発達心理学専攻）を有し、高いレベルの教育が実施されています。また、学生の探究心や向上心を刺激する多彩なプログラムも用意されており、それぞれの夢の実現や自己のさらなる可能性を広げる機会を積極的に提供しています。留学制度は、特にフランス語フランス文学科と英語英文学科の学生に利用され、毎年多数の短期語学研修・長期留学者が海外で知見を深めつつ、その語学力に磨きをかけています。さらに、幼稚園・小学校・中学校・高等学校のそれぞれの教員免許取得を目指す教職課程を整備し、保育士・司書・司書教諭といった資格取得プログラムも展開されています。

平成 2 年（1990 年）には、学部における学術研究を基礎に、さらに深い学識と高い研究能力を養い、文化の向上と社会の福祉に寄与することを目的として、大学院も設置されました。現在では、学部の専門教育と密接に連携する修士課程 5 専攻・博士課程 3 専攻が整い、実践的な分野で活躍しうる高度の知見を備えた専門家を社会に輩出しています。

今後は、卒業生に対する高い社会的評価を支えに、変化する社会と時代の要請に応えるため、キャリア支援にも力を注ぎ、それぞれの個性を生かした能力を発揮できる女性を、社会に送り出していきたいと考えています。

## II. 事業の概要

### 【学部における教学改革の推進状況】

- ・学内G P（Good Practice:教育改革への優れた取組）の推進として、学士課程教育のさらなる充実を目途とした「教育プログラム推進助成制度」を開始。学内公募の結果、6件の申請に対して4件のプログラムを採択。審査に際して「学内公開プレゼンテーション」を実施。申請プログラム内容を広く学内の教職員に周知し、これに対する質疑応答をオープンに展開する場を設けることで、教育内容の充実・改善への関心を高める試みを実施。
- ・正課におけるキャリア教育の導入として、学生が自らのライフデザインについて様々な角度から考える科目「キャリア・デザイン」を必修科目として新設。学生が自律した社会人としての問題意識を持つと同時に、大学で学ぶことの意義、文学部で学ぶことの意義を知ることが目的。
- ・平成24年度入学生よりCAP制の全学科導入。CAP制とは年間履修単位数に上限を設けるもので、単位の実質化、学修の質の向上を目的としている。これまでは一学科のみが導入していたが、制度を見直し全学科において適用。1年次～3年次は年間48単位を上限とし、4年次は上限単位数なしとしている。
- ・授業時間以外の学業支援を目的として、オフィスアワー制度を導入。授業・学修に関する学生の質問や相談に応じるため、研究室等に在室する時間を設定し、学生に公開している。学生が事前にメールでアポイントメントが必要な場合は、教員のメールアドレスが開示される方式となっている。
- ・仙台白百合女子大学との交換留学生事業を開始した。系列校である仙台白百合女子大学と相互連携と交流を深め、資質の向上を図ることを目的としている。期間は原則1年以内とし、受け入れ大学側は学費を徴収は行わない。平成24年度の希望者なし。

### 【大学院における教学改革の推進状況】

- ・平成24年度以降修士課程入学者修了要件の変更を行った。国語国文学専攻、フランス語フランス文学専攻、英語英文学専攻は修了要件となっている「修士論文」に代えて「特定の課題についての研究の成果」を選択することを可能とした。多様な研究・学修スタイルに対応できる修了要件となった。

- ・平成 25 年 1 月、大学院修士課程における内部進学者選考試験の導入を決定。この選考試験は、修士課程における入学者選抜方式の多様化に向けたもので、平成 26 年度入学者より適用。

#### ■ 学生生活・キャリア支援状況

- ・ AED（除細動器）について、平成 23 年度より計画的に学内の各建物（学生寮含む）に設置。特に平成 24 年度は、学生クラブ団体に対して「AED 設置の意義と実際の使用方法」を学ぶ講習会を開催した。
- ・ “学生生活全般に渡るキャリア支援” 実施の観点から、各クラブ団体の新年度役員を対象に「リーダーシップ研修会」を学生生活課とキャリア支援課共催で実施。クラブ活動を通じてのキャリア形成・醸成を目的とした取組を行った。

#### ■ 国際交流支援状況

- ・平成 24 年 5 月、教務部国際交流室に社会貢献推進係を設け、学内外のボランティア活動等を推進。6 月に国際 NGO プラン・ジャパンによる講演会（7 歳で働くってどういうこと？～意外と知らない児童労働と私たちの関係～）、7 月に日本カトリック信徒宣教師会による講演会（カンボジアの話を聴こう～無力な自分を通して、神様は働かれる～）、11 月に国際 NGO プラン・ジャパンによる講演会（Because I am a Girl）を実施。
- ・高等教育におけるカトリック教育の促進等を目的とする ASEACCU（東南アジア及び東アジアカトリック大学連盟）に加盟すると共に、平成 24 年 8 月、台湾の Wenzao Ursuline College of Languages にて第 20 回 ASEACCU 総会・第 14 回 ASEACCU 学生会議が開催され、アジアを中心に 9 か国から学生 50 名が参加。本学からは学生 2 名が参加（引率教職員 2 名）した。アジアのカトリック教育機関として取り組むべき課題や果たすべき役割についてグループディスカッションや、プレゼンテーションを実施。加盟大学間の学生交流を図った。今年度のテーマは、“Contribution by Catholic Higher Education to Sustainable Development in Modern World : From Service Learning to Social Entrepreneurship”
- ・フランス・トゥール県にあるトゥレーヌ学院と協力協定を締結し、本学学生の同校でのフランス語およびフランス文化の学習のための留学において、必要な支援が得られるよう、学習環境のさらなる整備を図った。

#### ■ 地域貢献

- ・ 調布市せんがわ劇場とのコラボレーションによる地域連携公演として「幻燈絵本ライブ」を開催し、企画・運営やストーリーテリング等に多数の学生・教員が参加した。また、調布市立緑ヶ丘小学校とは、調布市コミュニティ財団主催によるクリスマスコンサートでの同校児童の英語・フランス語による歌唱指導を本学の学生・教員が担当するなど、さらなる周辺小・中学校等との交流強化に取り組んだ。

#### ■ 図書館による教育支援企画

- ・ 昨年度に引続き、図書館では単なる資料の利用スペースとしてではなく、学生に様々な形で教育支援を行うことを目的とした「リエゾン企画講演会」が実施された。平成 24 年度は新たに「学位論文講演会」で博士論文の発表会が行われたほか、12 月に行われた第 4 回リエゾン講演会「聴いて、見て、感じる、おはなしの世界～グリムを語る～&クリスマス演奏会」では、桐朋学園短期大学との地域連携コラボレーションが実現した。

#### ■ FD・SD 活動の推進

- ・ FD・SD のさらなる推進を図るため、外部有識者を招いて「大学教育と質保証」をテーマとした教職員対象の講演会を開催し、高等教育を取り巻く現状と課題について教職員がともに考える機会を設けた。また、入職した職員に対する指導およびフォローの一環として「職員メンター制度」をスタートさせ、初年度は 3 名の職員をメンターとして任命した。

#### 【経営管理並びに施設・設備等に関する主な事業の状況】

- ・ 3号館の空調設備改修工事を実施。電気式ヒートポンプエアコンの老朽化に伴い、省電力で環境にやさしいガス空調設備へ全面的に切り替えを行った。これにより電力の低減、管理、保守の一元化を実現。経済産業省「建築物節電改修支援事業費補助金」の対象事業。
- ・ 3号館に太陽光発電システム（発電能力：9.8KW）を導入。低炭素社会への取組して環境に配慮したキャンパス造りを目指すために自然エネルギーを導入するものであり、学内電力の一部はこれにより賄われる。また3号館のロビーには、学生への環境啓発のため、発電量などを表示できるモニターを設置。
- ・ 照明器具の節電改修工事を実施。今年度は、3号館の教室及び廊下の照明器具を蛍光灯からLEDへ交換した。LEDになったことで、年間電力消費量（3号館棟別）の25%の削減を見込んでいる。
- ・ 講堂マルチメディアシステム改修工事を実施。講堂のスクリーンは新たに舞台後方の水平幕を用いて300インチ以上の画面を確保。また、高精細な映像を表示可能なプロジェクターが導入された。更にシステムがすべてHD化されたことにより、HDでの収録が実現し鮮明な記録映像を残すことが可能となった。それにより、毎年学位記授与式や入学式等に訪れる父兄の為の学内中継を、学内施設へHD展開する為、地上波デジタルに対応した送出装置を導入した。同時に、収録した映像をオンデマンドでも配信可能なストリーミングサーバーを導入し、学内LANでの映像の配信も可能となった。
- ・ 老朽化が著しかった音楽教室のAV機器全面改修を行った。これにより、ホール以外では初めてのHD対応プロジェクターを導入し150インチの大画面に高精細の映像を表示することで、音楽以外にも視聴覚を活用する授業に於いては効果的な教室となった。
- ・ 学生用共有端末のリプレースを実施した。WindowsXPで、すでに動作が遅くなっていた学生用共有端末（ノートパソコン220台他）をリプレースし、Windows7でも快適に利用できる環境になった。また、別々に管理していた図書館の学生用PCも機種、アプリケーションともに同一の仕様に統一することにより、学生の利便性の向上を図った。

### Ⅲ. 財務の概要

#### 1. 決算の概要

平成 24 年度決算の消費収支における帰属収支差額は支出超過額 33 百万円と、前年度に比べ 91 百万円の減少、消費収支差額では 93 百万円の支出超過となり、前年度に比べ 66 百万円の支出減となった。期中の施設整備事業では、講堂・放送室・音楽室・情報教室・図書館等のマルチメディア設備、及び情報処理設備の更新工事等があり、これらを含めた基本金組入額は 59 百万円と、昨年度に比べ 24 百万円の増加となった。資金収支では、資産運用支出として 350 百万円を計上、350 百万円を施設設備の更新の備えとして減価償却引当特定資産に資金留保し、1,800 百万円を次年度への繰越支払資金とした。

運用財産の状況では、総資産額は 23,454 百万円で前年度に比べ 98 百万円の減少、負債の部は、前年より 64 百万円減少し 2,564 百万円となった。

基本金の部は、新規の設備投資に充てた 59 百万円の第 1 号基本金への組入れにより 21,292 百万円となった。消費収支差額の部は、前年度の繰越消費支出超過額が 308 百万円、本年度の支出超過額が 93 百万円であり、402 百万円を翌年度繰越消費支出超過として計上した。基本金と消費収支差額の合計額は 20,890 百万円で、総資産に占める割合（自己資金構成比率）は 89.0%となった。

（ここに掲載する財務状況は白百合女子大学単体の財務状況であり、本学を含めた法人全体の財務状況につきましては学校法人白百合学園のホームページ

『<http://shirayuri-gakuen.ac.jp/data/index.html>』をご覧ください)

## 資金収支計算書

平成24年4月1日から  
平成25年3月31日まで

(単位 円)

収入の部				
科目	予算	決算	差異	備考
学生生徒等納付金収入	2,474,000,000	2,463,575,000	10,425,000	入学金、授業料などの納付金収入 ※1
手数料収入	68,000,000	59,270,300	8,729,700	受験料や証明書発行による手数料収入 ※2
寄付金収入	17,000,000	17,164,475	△ 164,475	教育環境整備寄付金、卒業生寄付金など
補助金収入	200,000,000	217,514,333	△ 17,514,333	
国庫補助金収入	200,000,000	217,514,333	△ 17,514,333	国からの助成金収入
地方公共団体補助金収入	0	0	0	
その他補助金収入	0	0	0	
資産運用収入	148,800,000	157,507,701	△ 8,707,701	公社債配当金、預金利息、施設使用料収入等
資産売却収入	10,000,000	10,141,855	△ 141,855	有価証券、備品売却による収入など
事業収入	80,600,000	80,239,695	360,305	主に学生寮の寮費収入
雑収入	94,500,000	93,416,843	1,083,157	※3
借入金等収入	0	0	0	
前受金収入	1,662,000,000	1,651,180,500	10,819,500	新入生、在学生に係る翌年度分の授業料など
その他の収入	108,178,900	103,982,634	4,196,266	前期末未収入金収入など
資金収入調整勘定	△ 1,729,238,500	△ 1,734,765,584	5,527,084	前期末前受金や当年度末未収入金などの調整勘定
前年度繰越支払資金	1,966,360,509	1,966,360,509		前年度から繰越された現金預金
<b>収入の部合計</b>	<b>5,100,200,909</b>	<b>5,085,588,261</b>	<b>14,612,648</b>	

支出の部				
科目	予算	決算	差異	備考
人件費支出	1,909,180,000	1,909,113,168	66,832	専任・非常勤教職員の人件費支出 ※4
教育研究経費支出	518,300,000	474,931,463	43,368,537	教育研究活動に係る経費支出
管理経費支出	261,121,000	253,099,436	8,021,564	教育研究経費以外の経費支出 ※5
借入金等利息支出	0	0	0	
借入金等返済支出	0	0	0	
施設関係支出	146,000,000	130,606,141	15,393,859	建物、構築物の取得などに係る支出 ※6
設備関係支出	145,500,000	113,270,251	32,229,749	機器備品、図書などの取得に係る支出 ※7
資産運用支出	360,000,000	350,000,000	10,000,000	減価償却引当特定資産への繰入支出
その他の支出	162,830,629	157,021,984	5,808,645	預り金、前期末未払金、前払金など
[予備費]	(5,300,000)			
	44,700,000		44,700,000	
資金支出調整勘定	△ 104,310,736	△ 103,313,442	△ 997,294	前期末前払金や期末未払金などの調整勘定
次年度繰越支払資金	1,656,880,016	1,800,859,260	△ 143,979,244	来年度へ繰越する現金預金
<b>支出の部合計</b>	<b>5,100,200,909</b>	<b>5,085,588,261</b>	<b>14,612,648</b>	

注記 (百万円未満切り捨て)

※1: 入学金収入214百万円、授業料収入ほか2,248百万円

※2: 入学検定料56百万円、証明手数料2百万円

※3: 退職金財団交付金74百万円、受託研究費1百万円

著作権印税2百万円、その他の雑収入15百万円

※4: 教職員人件費1,825百万円、退職金83百万円

※5: 学校法人白百合学園法人本部への法人負担金支出75百万円を含む

※6: 建物支出19百万円、建物付属設備支出111百万円

※7: 教育研究用機器備品80百万円、その他の機器備品2百万円、図書29百万円

## 消費収支計算書

平成24年4月1日から  
平成25年3月31日まで

(単位 円)

消費収入の部				
科目	予算	決算	差異	備考(資金収支計算書と異なる点など)
学生生徒等納付金	2,474,000,000	2,463,575,000	10,425,000	
手数料	68,000,000	59,270,300	8,729,700	
寄付金	18,500,000	19,048,465	△ 548,465	寄贈図書などの現物寄付が含まれる ※1
補助金	200,000,000	217,514,333	△ 17,514,333	
国庫補助金	200,000,000	217,514,333	△ 17,514,333	
地方公共団体補助金	0	0	0	
その他補助金	0	0	0	
資産運用収入	148,800,000	157,507,701	△ 8,707,701	
資産売却差額	3,000	3,000	0	有価証券売却差額
事業収入	80,600,000	80,239,695	360,305	
雑収入	94,500,000	94,098,936	401,064	※2
帰属収入合計	3,084,403,000	3,091,257,430	△ 6,854,430	
基本金組入額合計	△ 75,000,000	△ 59,518,324	△ 15,481,676	第1号基本金組入れ59百万円
<b>消費収入の部合計</b>	<b>3,009,403,000</b>	<b>3,031,739,106</b>	<b>△ 22,336,106</b>	
消費支出の部				
科目	予算	決算	差異	備考(資金収支計算書と異なる点など)
人件費	1,919,880,000	1,906,386,821	13,493,179	※3
教育研究経費	921,300,000	876,351,106	44,948,894	減価償却額401百万円が含まれる
管理経費	328,021,000	319,944,188	8,076,812	減価償却額66百万円が含まれる
借入金等利息	0	0	0	
資産処分差額	25,100,000	22,263,123	2,836,877	※4
徴収不能額	0	0	0	
[予備費]	(13,100,000)			
	36,900,000		36,900,000	
<b>消費支出の部合計</b>	<b>3,231,201,000</b>	<b>3,124,945,238</b>	<b>106,255,762</b>	
当年度消費支出超過額	221,798,000	93,206,132		
前年度繰越消費支出超過額	308,963,211	308,963,211		
基本金取崩額	0	0		
翌年度繰越消費支出超過額	530,761,211	402,169,343		

注記(百万円未満切り捨て)

※1: 現物寄付金1百万円

※2: 退職金財団交付金74百万円、受託研究費1百万円

著作権印税2百万円、その他の雑収入16百万円

※3: 教職員人件費1,825百万円、退職金9百万円

退職給与引当金繰入額71百万円

※4: 備品処分差額14百万円、図書処分差額8百万円

## 貸借対照表

平成25年3月31日

(単位 円)

資産の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定資産	21,452,485,195	21,361,447,093	91,038,102
有形固定資産	12,574,495,801	12,817,724,636	△ 243,228,835
土地	3,454,020,720	3,454,020,720	0
建物	6,694,054,696	6,911,591,892	△ 217,537,196
構築物	133,993,102	154,919,157	△ 20,926,055
教育研究用機器備品	486,553,957	502,574,445	△ 16,020,488
その他の機器備品	77,857,654	89,214,895	△ 11,357,241
図書	1,728,015,670	1,705,403,525	22,612,145
車輛	2	2	0
建設仮勘定	0	0	0
その他の固定資産	8,877,989,394	8,543,722,457	334,266,937
減価償却引当特定資産	7,700,000,000	7,350,000,000	350,000,000
退職給与引当特定資産	680,000,000	680,000,000	0
その他の固定資産	497,989,394	513,722,457	△ 15,733,063
流動資産	2,001,535,516	2,190,857,070	△ 189,321,554
現金預金	1,800,859,260	1,966,360,509	△ 165,501,249
未収入金	77,227,084	84,186,900	△ 6,959,816
その他の流動資産	123,449,172	140,309,661	△ 16,860,489
資産の部合計	23,454,020,711	23,552,304,163	△ 98,283,452

負債の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定負債	678,120,002	680,846,349	△ 2,726,347
長期借入金	0	0	0
退職給与引当金	678,120,002	680,846,349	△ 2,726,347
その他の固定負債	0	0	0
流動負債	1,885,941,348	1,947,810,645	△ 61,869,297
短期借入金	0	0	0
前受金	1,651,180,500	1,659,238,500	△ 8,058,000
その他の流動負債	234,760,848	288,572,145	△ 53,811,297
負債の部合計	2,564,061,350	2,628,656,994	△ 64,595,644

基本金の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
第1号基本金	21,135,128,704	21,075,610,380	59,518,324
第2号基本金	0	0	0
第3号基本金	0	0	0
第4号基本金	157,000,000	157,000,000	0
基本金の部合計	21,292,128,704	21,232,610,380	59,518,324

消費収支差額の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
消費支出準備金	0	0	0
翌年度繰越消費支出超過額	402,169,343	308,963,211	93,206,132
消費収支差額の部合計	△ 402,169,343	△ 308,963,211	△ 93,206,132

科 目	本年度末	前年度末	増 減
負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	23,454,020,711	23,552,304,163	△ 98,283,452

平成24年度末

## 財 産 目 録

I 資産総額	23,454,020,711 円
内 基本財産	12,577,667,496 円
運用財産	10,876,353,215 円
収益事業用財産	0 円
II 負債総額	2,564,061,350 円
III 正味財産	20,889,959,361 円

区 分	金 額
資産額	
1基本財産	
土地	55,293.46㎡ 3,454,020,720 円
建物	36,040.23㎡ 6,694,054,696 円
構築物	166点 133,993,102 円
図書	278,850冊 1,728,015,670 円
教具・校具・備品	3,339点 564,411,611 円
車輛	2台 2 円
建設仮勘定	0 円
その他	3,171,695 円
2運用財産	
現金預金	1,800,859,260 円
積立金	8,800,000,000 円
未収入金	77,227,084 円
その他	198,266,871 円
3収益事業財産	0 円
資産総額	23,454,020,711 円
負債額	
1固定負債	
長期借入金	0 円
退職給与引当金	678,120,002 円
その他	0 円
2流動負債	
短期借入金	0 円
前受金	1,651,180,500 円
その他	234,760,848 円
負債総額	2,564,061,350 円
正味財産(資産総額－負債総額)	20,889,959,361 円

## 2. 経年比較

## (1) 資金収支計算書

(単位:円)

収入の部	2008年度(平20)	2009年度(平21)	2010年度(平22)	2011年度(平23)	2012年度(平24)
学生生徒等納付金収入	2,570,545,000	2,548,182,000	2,530,195,300	2,501,145,900	2,463,575,000
手数料収入	66,279,385	73,429,300	72,023,200	67,812,370	59,270,300
寄付金収入	15,726,846	17,676,290	20,053,200	23,048,731	17,164,475
補助金収入	215,812,000	225,169,000	364,890,000	251,434,000	217,514,333
資産運用収入	299,126,570	240,894,465	208,340,160	169,528,135	157,507,701
資産売却収入	0	100,054,000	124,740	40,000,000	10,141,855
事業収入	96,695,498	98,858,650	78,094,951	83,569,139	80,239,695
雑収入	66,461,258	107,202,891	43,630,207	113,235,808	93,416,843
借入金等収入	0	0	0	0	0
前受金収入	1,826,294,600	1,777,196,400	1,703,223,500	1,659,238,500	1,651,180,500
その他の収入	230,044,402	581,195,309	57,278,906	175,923,876	103,982,634
資金収入調整勘定	△ 1,872,218,400	△ 1,871,564,000	△ 3,695,362,800	△ 1,786,310,400	△ 1,734,765,584
前年度繰越支払資金	1,794,140,158	2,027,692,175	2,294,238,248	2,011,728,111	1,966,360,509
<b>収入の部合計</b>	<b>5,308,907,317</b>	<b>5,925,986,480</b>	<b>5,463,040,012</b>	<b>5,310,354,170</b>	<b>5,085,588,261</b>

支出の部	2008年度(平20)	2009年度(平21)	2010年度(平22)	2011年度(平23)	2012年度(平24)
人件費支出	1,823,174,267	1,855,619,440	1,765,872,682	1,889,968,255	1,909,113,168
教育研究経費支出	502,836,130	474,834,820	482,252,533	491,665,213	474,931,463
管理経費支出	308,278,790	305,441,965	285,998,966	262,200,191	253,099,436
借入金等利息支出	0	0	0	0	0
借入金等返済支出	0	0	0	0	0
施設関係支出	475,051,386	569,800,305	323,849,987	72,491,840	130,606,141
設備関係支出	170,210,451	150,835,996	112,412,491	75,674,960	113,270,251
資産運用支出	10,000,000	0	460,000,000	643,670,000	350,000,000
その他の支出	65,093,028	301,908,904	51,852,351	46,409,203	157,021,984
資金支出調整勘定	△ 73,428,910	△ 26,693,198	△ 30,927,109	△ 138,086,001	△ 103,313,442
次年度繰越支払資金	2,027,692,175	2,294,238,248	2,011,728,111	1,966,360,509	1,800,859,260
<b>支出の部合計</b>	<b>5,308,907,317</b>	<b>5,925,986,480</b>	<b>5,463,040,012</b>	<b>5,310,354,170</b>	<b>5,085,588,261</b>

## (2) 消費収支計算書

(単位:円)

消費収入の部	2008年度(平20)	2009年度(平21)	2010年度(平22)	2011年度(平23)	2012年度(平24)
学生生徒等納付金	2,570,545,000	2,548,182,000	2,530,195,300	2,501,145,900	2,463,575,000
手数料	66,279,385	73,429,300	72,023,200	67,812,370	59,270,300
寄付金	18,419,699	22,895,962	22,351,103	24,547,429	19,048,465
補助金	215,812,000	225,169,000	364,890,000	251,434,000	217,514,333
資産運用収入	299,126,570	240,894,465	208,340,160	169,528,135	157,507,701
資産売却差額	0	134,000	0	232,000	3,000
事業収入	96,695,498	98,858,650	78,094,951	83,569,139	80,239,695
雑収入	66,470,031	107,413,657	43,638,740	113,328,525	94,098,936
<b>帰属収入合計</b>	<b>3,333,348,183</b>	<b>3,316,977,034</b>	<b>3,319,533,454</b>	<b>3,211,597,498</b>	<b>3,091,257,430</b>
基本金組入額合計	△ 389,019,661	△ 635,872,592	△ 328,203,713	△ 35,280,169	△ 59,518,324
<b>消費収入の部合計</b>	<b>2,944,328,522</b>	<b>2,681,104,442</b>	<b>2,991,329,741</b>	<b>3,176,317,329</b>	<b>3,031,739,106</b>

消費支出の部	2008年度(平20)	2009年度(平21)	2010年度(平22)	2011年度(平23)	2012年度(平24)
人件費	1,826,636,763	1,844,355,766	1,778,080,000	1,864,375,029	1,906,386,821
教育研究経費	987,390,690	916,202,708	890,162,365	898,705,033	876,351,106
管理経費	353,479,049	369,898,707	351,034,335	329,395,454	319,944,188
資産処分差額	36,600,276	24,828,205	14,625,958	243,815,959	22,263,123
徴収不能額	1,670,000	1,850,000	1,650,000	0	0
<b>消費支出の部合計</b>	<b>3,205,776,778</b>	<b>3,157,135,386</b>	<b>3,035,552,658</b>	<b>3,336,291,475</b>	<b>3,124,945,238</b>
当年度消費収支超過額	△ 261,448,256	△ 476,030,944	△ 44,222,917	△ 159,974,146	△ 93,206,132
前年度繰越消費収支超過額	632,713,052	371,264,796	△ 104,766,148	△ 148,989,065	△ 308,963,211
基本金取崩額	0	0	0	0	0
翌年度繰越消費収支超過額	371,264,796	△ 104,766,148	△ 148,989,065	△ 308,963,211	△ 402,169,343

## (3)貸借対照表

(単位:円)

資産の部	2008年度(平20)	2009年度(平21)	2010年度(平22)	2011年度(平23)	2012年度(平24)
固定資産	21,260,579,711	20,943,205,615	21,350,390,630	21,361,447,093	21,452,485,195
有形固定資産	12,993,066,355	13,189,478,322	13,141,349,400	12,817,724,636	12,574,495,801
土地	3,454,020,720	3,454,020,720	3,454,020,720	3,454,020,720	3,454,020,720
建物	6,584,050,133	7,182,504,561	7,182,108,770	6,911,591,892	6,694,051,696
建設仮勘定	440,269,000	19,530,000	5,391,750	0	0
その他の有形固定資産	2,514,726,502	2,533,423,041	2,499,828,160	2,452,112,024	2,426,423,385
その他の固定資産	8,267,513,356	7,753,727,293	8,209,041,230	8,543,722,457	8,877,989,394
流動資産	2,086,615,448	2,473,112,009	2,272,120,002	2,190,857,070	2,001,535,516
現金預金	2,027,692,175	2,294,238,248	2,011,728,111	1,966,360,509	1,800,859,260
その他の流動資産	58,923,273	178,873,761	260,391,891	224,496,561	200,676,256
<b>資産の部合計</b>	<b>23,347,195,159</b>	<b>23,416,317,624</b>	<b>23,622,510,632</b>	<b>23,552,304,163</b>	<b>23,454,020,711</b>
負債の部	2008年度(平20)	2009年度(平21)	2010年度(平22)	2011年度(平23)	2012年度(平24)
固定負債	705,495,931	694,232,257	706,439,575	680,846,349	678,120,002
長期借入金	0	0	0	0	0
その他の固定負債	705,495,931	694,232,257	706,439,575	680,846,349	678,120,002
流動負債	2,037,180,526	1,957,725,017	1,867,729,911	1,947,810,645	1,885,941,348
短期借入金	0	0	0	0	0
その他の流動負債	2,037,180,526	1,957,725,017	1,867,729,911	1,947,810,645	1,885,941,348
<b>負債の部合計</b>	<b>2,742,676,457</b>	<b>2,651,957,274</b>	<b>2,574,169,486</b>	<b>2,628,656,994</b>	<b>2,564,061,350</b>
基本金の部					
第1号基本金	20,076,253,906	20,712,126,498	21,040,330,211	21,075,610,380	21,135,128,704
第4号基本金	157,000,000	157,000,000	157,000,000	157,000,000	157,000,000
<b>基本金の部合計</b>	<b>20,233,253,906</b>	<b>20,869,126,498</b>	<b>21,197,330,211</b>	<b>21,232,610,380</b>	<b>21,292,128,704</b>
消費収支差額の部					
翌年度繰越消費収入超過額	371,264,796	△ 104,766,148	△ 148,989,065	△ 308,963,211	△ 402,169,343
<b>消費収支差額の部合計</b>	<b>371,264,796</b>	<b>△ 104,766,148</b>	<b>△ 148,989,065</b>	<b>△ 308,963,211</b>	<b>△ 402,169,343</b>
<b>負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計</b>	<b>23,347,195,159</b>	<b>23,416,317,624</b>	<b>23,622,510,632</b>	<b>23,552,304,163</b>	<b>23,454,020,711</b>

## 3.主な財務比率比較

(単位%)

比率名	算式	2008年度末 (平20)	2009年度末 (平21)	2010年度末 (平22)	2011年度末 (平23)	2012年度末 (平24)
帰属収支差額比率	$\frac{\text{帰属収入}-\text{消費支出}}{\text{帰属収入}}$	3.82	4.81	8.55	-3.88	-1.09
消費収支比率	$\frac{\text{消費支出}}{\text{消費収入}}$	108.87	117.75	101.47	105.04	103.07
学生生徒等納付金比率	$\frac{\text{学生生徒等納付金}}{\text{帰属収入}}$	77.11	76.82	76.22	77.88	79.69
人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{帰属収入}}$	54.79	55.60	53.56	58.05	61.67
教育研究経費比率	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{帰属収入}}$	29.62	27.62	26.81	27.98	28.35
管理経費比率	$\frac{\text{管理経費}}{\text{帰属収入}}$	10.60	11.15	10.57	10.26	10.35
流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	102.42	126.32	121.65	112.48	106.13
負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{自己資金*1}}$	13.31	12.77	12.22	12.56	12.27
自己資金構成比率	$\frac{\text{自己資金}}{\text{総資金*2}}$	88.25	88.67	89.1	88.84	89.07
基本金比率	$\frac{\text{基本金}}{\text{基本金要組入額}}$	99.86	99.98	100	100	100

\*1 自己資金＝基本金+消費収支差額

\*2 総資金＝負債+基本金+消費収支差額